

建設通信新聞

測量4団体ら

「つなぐ、広がる、未来が変わる」

G空間EXPOが開幕

日本測量協会をはじめ、全幕した写真。東京都江東区国測量設計業協会連合会、日の東京ビッグサイトで28、30日本測量機器工業会、日本測量日の3日間、地理空間情報に調査技術協会などが主催するまつわる最新の技術やビジネスを発信する。

今回のテーマは「G空間がつなぐ、広がる、未来が変わる」。前回に引き続き、「防災産業展」「グリーンインフラ産業展」「国際宇宙産業展 I S I E X」との同時開催で、新しい領域で活躍する企業・



団体とのマッチングや情報共有の場にする。

宇宙飛行士の野口聡一氏による基調講演をはじめ、測量関係4団体が主催する「地理空間情報フォーラム」、地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード」など、多彩な展示、講演・シンポジウムなどを催す。

オープニングセレモニーの後、日本測量協会の清水英範会長は「AI(人工知能)やマルチセンサーといった最先端技術の融合が、G空間社会の実現を確実に前進させている。合同開催している展示会は、内容が連続しており、歩いているうちに宇宙から地上、そしてインフラへと技術がつながっていることを実感できるはずだ。社会にあふれている地理空間情報がAIによって整理され、有効活用できるようになる。そんな未来の一端を体感してほしい」と話した。

同エキスポは、地理空間情報の高度活用社会(G空間社会)の実現に向けた産学官連携、地理空間情報と衛星測位の利活用を推進するためのイベント。55社・団体が出展する。現地会場とオンラインのハイブリッド開催とし、オンラインの会期は2月13日まで。